

1の3 算数科学習指導案

10 / 22 (木) 3限
1の3教室 石田 美保

1 単元名 たしざん


2 本時のねらい

1位数どうしの繰り上がりのある加法計算で、足される数を分解して計算する方法（被加数分解）があることを知り、計算の仕方について理解を深める。

3 本時における学ぶ楽しさ

前時までの学習をもとに、10のまとまりをつくらうとして数を見て、どちらの数を分解してどちらの数から10をつくるのがよいか考える楽しさ

4 展開

時	学習活動と子どもの姿	学ぶ楽しさを味わうための手だて									
10	<p>1. 課題をつかむ</p> <p>たまごは あわせて なんこですか。 けいさんのしかたを かんがえましょう。</p> 	<p>(1)算数のよさや美しさに気付く足場作り 前時までの計算と違うところに気付かせるために、素材を提示する。</p>									
20	<p>○どんな式になるのかな。 ・ 3 + 9 になるのかな。 ・ 9 + 3 なら簡単だけどな。</p> <p>< 3 + 9 の けいさんのしかたを かんがえよう ></p> <p>2. 自分の考えを持ち、共有する</p> <p>○どこに10のまとまりをつくるのかな。 ・ 図をかいて考えたら、12 だったよ。 ・ 3 はあと 7 で 10 だから、9 を 7 と 2 に分けて、3 と 7 で 10 のまとまりをつくって、こたえは 12 だ。 ・ 9 はあと 1 で 10 だから、3 を 1 と 2 に分けて、1 と 9 で 10 のまとまりをつくったほうが、簡単だよ。 ・ 前までは、足すの後の数を分けていたけど、前の数を分けてもいいのかな。 ・ どちらをわけても 10 のまとまりをつくれればいいと思うよ。</p>	<p>(2)考えを洗練していく話し合い 自分の考えを確かなものにし、計算の仕方をくり返し説明する場を増やすために、ペア活動の場を設ける。</p> <p>(2)考えを洗練していく話し合い 10 のまとまりをつくった理由を説明させる。</p>									
10	<p>4. まとめる</p> <p>どちらをわけてもいいんだね。10のまとまりをつくるとけいさんできるよ。</p>										
5	<p>5. 適用問題</p> <p>○どちらを10にしたのかが分かるようにかいて計算しよう。</p> <table border="1" data-bbox="287 1780 901 1926"> <tr> <td>① 2 + 9</td> <td>② 4 + 7</td> <td>③ 3 + 8</td> </tr> <tr> <td>④ 4 + 9</td> <td>⑤ 5 + 9</td> <td>⑥ 4 + 8</td> </tr> <tr> <td>⑦ 6 + 8</td> <td>⑧ 8 + 9</td> <td>⑨ 6 + 9</td> </tr> </table>	① 2 + 9	② 4 + 7	③ 3 + 8	④ 4 + 9	⑤ 5 + 9	⑥ 4 + 8	⑦ 6 + 8	⑧ 8 + 9	⑨ 6 + 9	<p>(3)学んだものを知恵にする場面 問題の数字を見てどこに10のまとまりを作ったのかを意識させるために、途中の計算を書かせる。</p>
① 2 + 9	② 4 + 7	③ 3 + 8									
④ 4 + 9	⑤ 5 + 9	⑥ 4 + 8									
⑦ 6 + 8	⑧ 8 + 9	⑨ 6 + 9									